

朗読部門 決勝課題

自分の原稿に続けて、下の傍線部のみを朗読しなさい。

ここ ほをりのみこと いろせほでりのみこと さち かもち い みたび  
爾に火遠理命、其の兄火照命に、「おのおのおのも幸相易へて用ゐむ」と謂ひて、三度

こ ゆる しか つひ わづ え か  
乞はししかども、許さざりき。然れども遂に纒かに得相易へたまひき。

ここ ほをりのみこと うみ も なつ ふつ ひと な え また そ つりばり うみ  
爾に火遠理命、海さちを以ちて魚釣らすに、都に一つの魚だに得ず、亦其の鉤をも海

うしな  
に失ひたまひき。

訳（ある時、ホオリが兄のホデリに、「お互いに獲物を取る道具、釣り針と弓矢を交換してみませんか」と三度言葉をかけたが、兄は誘いに応じようとしなかった。だが、あきらめず交渉を重ねた結果、ようやく釣り針と弓矢を交換することができた。

さっそくホオリは海の獲物を取る釣り道具で魚を釣ったが、まるで一匹の魚もかからなかった。そればかりか、借りた釣り針まで海中に落としてしまった。）

『古事記 ビギナーズ・クラシックス 日本の古典』より  
(角川ソフィア文庫)